

2024
議会だより

よし
か

第71号

令和6年7月25日

さあ いこう どこまでも 走り出せー!!

▶第2回定例会・主な新規事業…………… 2

▶主な質疑・討論…………… 3

▶全員協議会…………… 4

▶議会へのご意見…………… 5～6

▶議案の議決結果表…………… 7

▶一般質問・発議・委員会活動報告…………… 8～11

▶議場見学・傍聴・編集後記…………… 12

第2回定例会

〈令和6年6月7日～14日の8日間〉

一般会計補正予算（第3号） 7,472万6千円
(可決)

令和6年度予算総額 78億5,927万2千円
昨年比 1.1%増

一般会計補正予算（第4号） 321万3千円
(可決)

主な新規事業

低所得者支援給付金及び定額減税補足給付金事業費
5,432万円

六日市・柿木放課後児童クラブエアコン設置工事費及び
七日市放課後児童クラブトイレ改修費 482万円

旧六日市病院看板撤去工事費 163万円

UBEビエンナーレ吉賀町賞彫刻作品設置及び除幕式等
関連経費 129万円

児童手当法改正に伴うシステム改修委託料 523万円

吉賀町スポーツ公園の夜間管理者常駐費等 321万円

- ・立戸のスポーツ公園近くでクマが捕獲されたことを受け、夜間の管理者を常駐させるための業務委託費（17時～20時）
- ・町内野外スポーツ施設5カ所に管理者護身用のクマ撃退スプレー購入費

定例会での討論

家庭的保育事業所等の設備及び運営に関する条例の基準を定める条例

反対討論

藤 升 議員

施行期日については、県に準ずるのではなく、自分達が考えて、主体性を持って期日を設けるべきである。

介護保険事業特別会計補正予算

反対討論

藤 升 議員

低所得者の方を中心に物価高などで生活は苦しい。国のやり方に対して抗議する意味で反対する。

全員協議会での主な質疑

新病院建設計画に総額52億5000万円!!

令和9年度に新たに建設予定の「よしか病院」の概算事業費が公表されました。余りにも大きな予算額に不安の声があがっています

桜下議員

多額の投資に対する町民の不安は大きい。パブリックコメントだけで済ますのではなく、十分な説明をつくして、理解をもらうべきである。

【医療対策課長】

住民説明会を基本にして、丁寧に説明しながら計画を進めたいと考えている。

村上議員

策定委員会では、場所など具体的な議論は始まっているのか。

【医療対策課主幹】

さまざまな意見がある。場所については可能性として3つのパターンを示している。

第三者調査委員会の答申出る 入札に違法性なし

「カタクリ会」が行う入札事務手続きが、適正に行われていないのではないかと一部町民や議員の疑念に対し、「カタクリ会」が吉賀町に対して第三者委員会を設けて調査するよう求めているものです。

三浦議員

実績のある納入業者に入札の案内がなかった。意図的だったのではないのか。また、町内業者を優先させる助言をすべきではなかったのか。

【医療対策課長】

町は「カタクリ会」が行う入札に口出しする権限はない。

【町長】

中立・公平な立場で判断をした結果だと受け止めている。

官民連携で新しい町づくりを

「高津川でらす」「真田グラウンド」周辺を総合的に活用して、新しい町づくりのモデルとする「まちの駅」構想が日本経済研究所から示されました。コンセプトは「オーガニックステーション」です。

河村(隆)議員

ローカルPFIを採用すると言われたが、業者の選定などは進んでいるのか。

【企画課長補佐】

決定はしていないが、報告書を作成する段階で実績のある数社からヒヤリングを実施した。

河村(隆)議員

「オーガニックステーション」の実現に向けて各課が連携できるのか。企画課が旗を振るばかりでは、前には進まない。

【町長】

できるようにしなければならない。調査結果に基づいて出来ることから進めていく。

全 員 協 議 会

第 5 回全員協議会 (5 月 1 日)

- * 吉賀町よしか病院等第三者調査委員会について
- * 「よしか病院」及び「よしか介護医療院」の状況等について

第 6 回全員協議会 (5 月 30 日)

- * 「よしか病院」及び「よしか介護医療院」の状況等について
- * 第 4 次吉賀町地域医療計画について
- * 吉賀町新病院建設基本計画について
- * 先導的官民連携支援事業（まちの駅）について ほか 4 件

第 7 回全員協議会 (6 月 7 日)

- * 吉賀町よしか病院等第三者調査委員会答申について



注目！深掘り

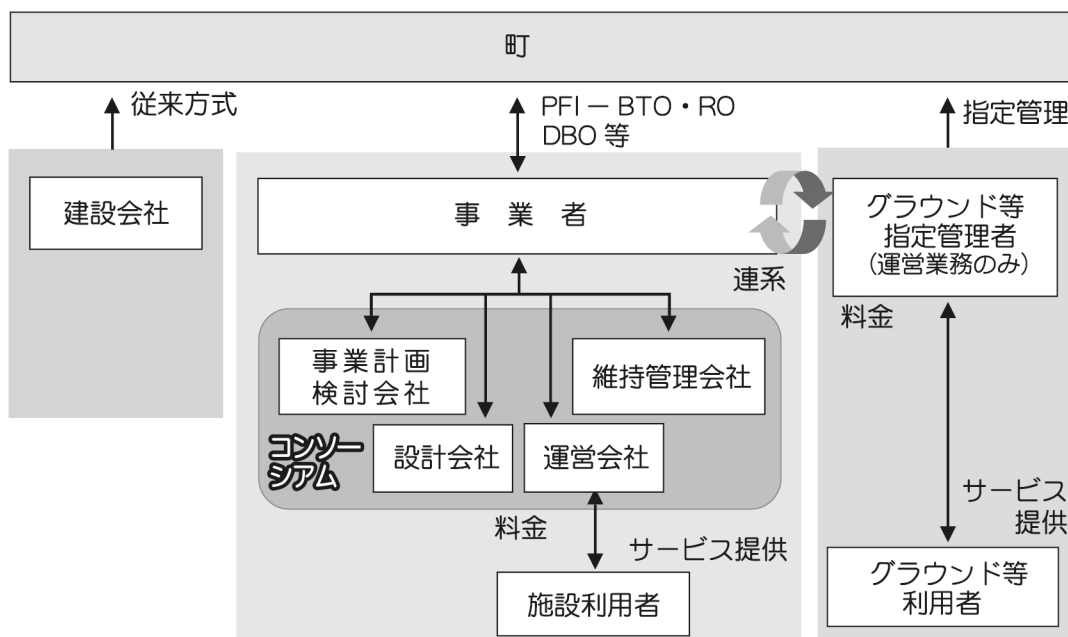
* 先導的官民連携支援事業（まちの駅）構想について

この事業は、令和 5 年 5 月に構想が出されました。

- ・先導的官民連携支援事業とは、真田地区旧六日市学園・交流研修センター真田グラウンド周辺を、交流拠点（まちの駅）として整備する事業です。

想定される事業スキーム案

- ・地域課題解決に向けて官民で検討し、事業内容に反映できるよう「事業計画策定業務」を含め一括で事業化する。
- ・地域の事業者が参画できるよう、グラウンド等の運営業務は指定管理者制度で、建設業務は従来方式で、別途事業化する。



この他、2つの事業手法を想定し、次年度事業スキームの決定を目指す。

議会についてのご意見をお聞かせください

吉賀町議会では、議会活性化のため、具体的な取り組みを進めています。

つきましては、住民の皆様から議会についてのご意見や提言をお寄せいただきたいと思います。

ご住所やお名前を記入された方には、回答させていただきます。

なお、議会・町政に関しないものやひぼう中傷等には回答いたしませんので、ご了承ください。

のりしろ ご意見等ある方は、 裏面にご記入の上、 外枠にそって切り 取り封書にして投 函してください。 のりしろ	切り取り 折ってください 料金受取人払 益田郵便局承認 527 差出有効期間 2026年2月 28日まで 〔切手不要〕 折ってください 698-8790 吉賀町役場 議会事務局 行 吉賀町六日市七五〇 のりしろ 切り取り 折ってください
--	--

次のことにご注意いただき、ご意見等をお寄せください。

◇議会・町政以外のことについてのご意見等はご遠慮ください。

◇ご住所、お名前の記載がない場合は、回答はいたしません。

◇いただいたご意見等を、匿名で「議会だより」や町のホームページに掲載することがあります。

◇簡潔な内容をお願いします。



折ってください

切り取り

回答を希望される方はご住所、お名前を記入してください。

(個人情報保護により、記載されたご住所、お名前等は他の目的には使用しません。)

ご住所 〒

お名前

男・女 (歳代)

件 名

切ってください

折ってください

切り取り

『議決結果表』（議長は、可否同数の場合を除き採決に加わらない）

【全員賛成で可決した議案】

	議案番号	件名
第3回臨時会	承認第1号	専決処分の承認（吉賀町税条例の一部を改正する条例）
	承認第2号	専決処分の承認（吉賀町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）
	議案第55号	町有財産無償貸付の件
	議案第56号	令和6年度吉賀町一般会計補正予算（第2号）
第2回定例会	議案第57号	請負契約の変更（令和5年度町道栃木線栃木橋補修工事）
	議案第58号	吉賀町地域公共交通会議条例の一部改正
	議案第60号	令和5年度吉賀町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）
	議案第61号	吉賀町介護老人保健施設の設置及び管理に関する条例を廃止する条例
	議案第62号	吉賀町介護老人保健施設手数料及び使用料条例を廃止する条例
	議案第63号	令和6年度吉賀町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）
	議案第65号	令和6年度吉賀町一般会計補正予算（第3号）
	議案第66号	令和6年度吉賀町一般会計補正予算（第4号）

※第2回定例会の表決において、河村由美子議員が欠席しました。

【賛成多数で可決した議案】

○：賛成 ●：反対 欠：欠席

	議案番号	件名	桜下	村上	三浦	桑原	河村(由)	松蔭	河村(隆)	大庭	藤升	中田	庭田
第2回定例会	議案第59号	吉賀町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	欠	○	○	○	●	○	○
	議案第64号	令和6年度吉賀町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	欠	○	○	○	●	○	○

【賛成少数で否決した議案】

○：賛成 ●：反対 欠：欠席

	議案番号	件名	桜下	村上	三浦	桑原	河村(由)	松蔭	河村(隆)	大庭	藤升	中田	庭田
定例2会回	発議第2号	企業・団体献金の禁止を求める意見書（案）	●	●	●	●	欠	○	○	●	○	○	●

サクラマスの理念を明確な目標に



村上 定陽

質問

吉賀町教育振興計画の中に掲げている「サクラマスプロジェクト」こそが当町の教育方針の一丁目一番地である。それを基に教育行政を行うべきである。

このプロジェクトを推進し醸成していくにあたり、各地域や各学校で特色を持つことは大切ではあるが、社会教育・学校教育のそれぞれに「統一目標」を設定し推進していく必要があると考える。

将来の担い手である子どもたちに身につけさせたい能力、その能力を身につけるための学びは何か。今後、統一の目標を立てる考えはあるのか。

サクラマスプロジェクトの推進

教育長

吉賀町の子どもたちに求めるのは、「我慢強くやり抜く力」「プラス思考で自分を高める力」「他者とうまくコミュニケーションをとる力」という非認知能力を伸ばして欲しいと考えている。

こうした力を養うためには家庭・地域・学校など場所は様々あるが、まさにサクラマスプロジェクトを進めていく中にあると考える。「統一目標」のことは新たに教育委員会で目標を立て、施策を打つとなれば難しい問題も出てくると考えるが、貴重な意見としてしっかりと肝に銘じ、今後検討していく。

介護保険の仕組み見直しを



藤 升 正 夫

質問

今年3月議会において65歳以上の方の介護保険料基準額が月額50円引上げされ、6650円になった。

反対討論で述べたように、所得に占める保険料の割合が、所得の少ない人が高いことをはじめ、介護サービスの利用が高まればそのまま保険料に反映する介護保険制度そのものに欠陥があると考え、島根県の後期高齢者医療保険料は、収入の多い人ほど高くなる。介護保険料の仕組みの見直しを求める。

は、保険料負担も低くなる仕組みとなっていく。

しかし、一人ひとりで見たときに所得の少ない被保険者において、保険料割合が高いことについては、議員指摘の通りであると認識している。

町の介護保険料は、合計所得金額が110万円と仮定すると第6段階となり、保険料の合計所得金額に占める割合は8.7%、合計所得金額が720万円と仮定すると合計所得金額が第13段階となり保険料の合計所得金額に占める割合は2.7%となる。

当面この制度を運用

町長

介護保険料は所得段階別に、原則として被保険者の所得が低い場合に

は所得段階別に、原則として被保険者の所得が低い場合に

町としては、制度趣旨を尊重し国から示された標準段階及び各段階を区分とする所得段階とした。

ふるさと納税への取り組みは



中 田 元

質問

ふるさと納税は、町外からの寄付であり町の真価（本気度）を問われるものである。

①近年、目標額1300万円を掲げているが達成率76%と低迷している。目標額が高いのか、返礼品に魅力がないのか、PRの仕方が悪いのか、原因を分析しているか。

②以前話題になったラッキョウ、漬物加工の返礼品としての将来はどうなるのか。

「柿木みそ」や、JA婦人部の味噌も人気がある。返礼品への考えは。

③ふるさと納税の専任の担当者置き、1億円くらいの目標を掲げていただきたい。

目標達成に向け全職員で頑張る

町長

わさび漬、ソフトクリーム、米など食料品が良く出た。返礼品の掘り起こしや情報発信が不足したので改善に努める。ラッキョウは出荷や加工に手間がかかるために断念した。漬物についても規制があり大変厳しい。

JA婦人部の味噌は、保健所の営業許可を取る必要があるのが難しい。

当町には特産品があっても知名度の点で不利である。寄付事務は総務課、産業課、企画課と連携して行っている。現状の体制で目標1300万円に臨む。

給食の充実を



庭田 英明

質問

保育所や学校給食に安全な食材を安定して供給するために、町内に統一した新しい組織を立ち上げるべきである。

検討していく

町長

現在、協議をしている組織の意見も十分に聞きながら、検討していく。

子どもの健康を守れ

質問

学力や、スポーツの基礎となる体をつくる食について、どのように考えているか。

できれば全てオーガニックで

教育長

子どもたちの健康を第一に、今後も安全・

安心な給食の提供に努めていく。

リーダーシップを

質問

食品衛生法が6月から施行される。

食の伝統や、小さな生産者を守るために、法の改正や支援策を国や県に強く働きかけるべきである。

大きな問題と危惧

町長

生産者のみならず、消費者、取り扱い業者など影響は多方面に及び、大きな損失である。町村会など関係機関と連携して働きを強めていく。



よしか病院について



大庭 澄人

質問

夜間救急について、救急車を呼んでも、付き添いが行かなければならない。高齢者や運転が困難な人たちにとって帰宅する方法がない。

貧しいから、田舎だから等の理由で命を脅かされることは大変悲しい。夜間救急がなくなったことには弊害がある。

また、リハビリ器具を故障で撤去したが、利用者にとっては、大変なマイナスである。利用時間も3月より制限されて患者にとって不利なことばかりである。地域に根差す医療とかけ離れていると考えるが、町長の考えを聞く。

カタクリ会と協議していく

町長

医師の働き方改革が4月から施行されたことにより、地域医療を継続させるために、医療従事者の確保が課題である。

現状のスタッフ数が少ないよしか病院では、夜間救急の受け入れは難しい。

救急発生件数、吉賀町の規模、病院の規模、体制等これらを総合的に勘案して、夜間救急を断念している。リハビリ器具を新たに更新するかは、「カタクリ会」と町で協議する。現在のところ、費用対効果も考えた上で検討している。



風力発電所の建設反対表明



桜下 善博

質問

一般質問での答弁の前に、議会に対し事前に建設反対の説明がなかった理由は。

タイミングがなかった

町長

全員協議会より、あくまで本会議で発言したかった。

計画発表から時間が相当経過しており、議会の場で建設反対の表明をするタイミングが、一般質問の場であった。

風力発電所建設反対の再考は

質問

懸念材料が払拭されれば、再生可能エネルギーを利用した風力発電所建設反対の再考はあるのか。

現段階ではコメントできない

町長

環境負荷の少ない再生可能エネルギーを使用した発電は、自然豊かな吉賀町において重要なエネルギー資源であると認識している。

風力発電に限らず、災害防止や自然環境、生活環境、景観の保全に十分配慮した上で、地域住民の懸念を払拭し、理解が得られるのであれば、地域と共生する再生可能エネルギー導入の実現のために、まちづくり計画との整合性を念頭において考える。再考については、今の段階ではコメントできない。

働き方改革とは



松 蔭 茂

質問

働き方改革とは何か。働き方改革によって我々はどうのような影響を受け、変わるのか。

いろいろな問題が生じると思われるが、解決方法はあるか。経済や事業経営者にどのような影響があるのか。

働き方を自分で選択

町長

厚生労働省が2019年に発表した働き方改革とは、個々の事情に応じた多様な働き方を自分で選択できるための改革とされる。

一般生活に受ける影響は、長距離ドライバーの勤務時間や休憩時間に制限がかかるため、町内のスーパー等に物資が入りづらくなる。



よし、病院の夜間救急受け入れ中止の理由も、医師の連続勤務時間の制限によるものである。

社会全体では残業時間の規制による収入減少により不公平感が生じ、離職が増える。また、会社の利益減少など、数々の重要な課題が生じる可能性が高い。

教育長

学校現場において、教職員の長時間労働が問題で、学校休校日や部活動の休みの日を設け教職員の業務負担を減らしている。

サクラマス奨学金を



河 村 隆 行

質問

教育振興計画の基本理念に、「ふるさとでの学びや体験をもとにした明日の吉賀町を支える人材の育成」とある。

サクラマスプロジェクトでは、「いつの日かふるさと吉賀町を支える人材(財)の育成」を掲げている。

鹿児島県長島町では、2016年から「ぶり奨学金」が始まった。中学校を卒業した子どもは町外に進学し、卒業後も町に戻らないのが大きな課題だった。

町を出た若者が成長して再び戻ってきてほしい、そんな願いを込めて始めたとのこと。吉賀町も町ぐるみでサクラマス奨学金を創設し、応援するべきと思うが町長の考えを聞



く。

受け皿を考える

町長

奨学金制度の創設については、こうした制度を導入する前に、その受け皿を考える。

吉賀町に定住することのできる環境を整備して、学生たちが就業する環境や、居住する場所を確保していくための基盤づくりが必要と思う。

町にある奨学金制度の中には、医療や、福祉関係の奨学金も多くある。こうした奨学金との兼ね合いも含め、検討していきたい。

新病院建設は



河 村 由 美 子

質問

建設に対するパブリックコメントを募集したが、件数と主な意見の内容を聞く。現在示されている総工費は約53億円である。

3年先では物価高騰等で膨らむ可能性がある。子どもたちに借金を残さない最大限の方向を模索しては。

件数は12件

町長

特に総工費の問題、建設場所、設備等が圧倒的だった。建設的な意見もあり、今後に反映する。

今後、町財政を勘案しながら、綿密な計画を遂行する。

未来の町づくりは

質問

次世代の町づくりは人口

現状厳しい問題

町長

法に基づき所有者に管理をお願いする。

未来の町づくりにはサクラマスプロジェクトを通し、いつの日か吉賀町を支える人材育成を目指し、更には地方創生の取り組みの中で、町内外から見て吉賀町はすごいと思っていただける政策展開を推進する。

まちづくり構想は



三 浦 浩 明

質 問

少子高齢化により地方は仕事、自治会、医療・福祉に関し悪影響が出ている。

当町では製造業や建設業等が町民の生活を支えてきたと考えるが、今後どのような支援をしていくのか。

各地域でも自治会活動をはじめ、さまざまな活動が衰退化すると思われる。自治会の改善策等どう考えるか。新病院建設等の計画があるが、町民の生命生活がしっかりと守れる確信はあるのか。

支援・再編等で対応

町 長

製造業等の支援において、吉賀町人材確保定着推進協議会を中心と

した採用活動の支援や、地域商業等の支援を行っているが、商工会など関係機関・団体と協議しながら今後も対応していく。

住民の価値観の多様化により、自治の単位は過渡期を迎えているのかもしれない。自治会の再編など、それぞれの自治会に合った支援をする必要がある。

医療・福祉においては、新病院建設基本計画に基づき適切な規模による病院建設を確実にを行う。

安心感を町民へ浸透させ、人口減少を食い止めていくことで、町民の皆さんの生命と財産がしっかりと守られていくと考える。

発 議

※議員が提出した議案

【発議第2号】

企業・団体献金の禁止を求める意見書(案)

提出者 藤 升 正 夫

「理由」政治資金問題が再び登場することがないよう、企業・団体献金を禁止し、政治に対する信頼を取り戻すため。

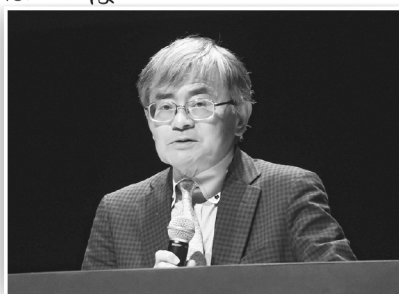
◇賛成少数により否決

全国町村議会正副議長研修会

5月21日、東京国際フォーラムにて研修

会が行われました。

当日は、大正大学地域創生学部教授の江藤俊昭氏をはじめ、3名の講師が招かれ、



「議員のなり手不足は『住民自治の危機』…その打開の道を探る』ほか、ハラスメントや、将来の地方議会の担い手についての講演がありました。

議員のなり手不足は、地方議会にとって大きな課題であると言えます。将来の地方議会がどのような姿であるべきか、そのためにはどのような行動すべきかを改めて考えていかなければならないと感じました。

委員会活動報告

Ⅱ 経済常任委員会 Ⅱ

経済常任委員会では、「学校給食と有機農産物」についての調査のため、学校給食に食材を納入している「食と農・かきのきむら企業組合」と、「産直・物産館やくろ」との意見交換を行いました。

地域によって営農の取り組みに違いがあり、有機農産物と慣行農業による地元野菜が納められていますが、気候条件などさまざまな要因で、計画通りの生産ができない苦労も伝えられました。

また、生産者の高齢化が深刻であることや、野菜単価の下落などの問題点も出され、問題解決には、生産者確保の手立てを考えることが課題であるとの意見がありました。

町は子育て支援の一環で給食費を無料としています。経費の縮減で質が低下したのでは意味がありません。これからも安全な給食が安定して供給できるよう、調査を続けます。



議場へようこそ！

議会傍聴



議場見学

5月20日、六日市小学校6年生11名のみなさんが、議場見学にいられました。当日は安永議長、増本事務局長より、議会の役割や議員の仕事などについての説明と、質疑応答、採決システム体験を行いました。

質疑応答では、時間が足りないほど多くの質問があり、議会について非常に熱心に勉強されていると感じました。

6月7日、定例会初日には傍聴に連れられ、実際に議会の様子を見ていただきました。児童のみなさんからは、「難しかったけれど、初めて知ったことがたくさんあった」、「吉賀町や、町民のことを真剣に考えているのがわかった」など、感想もたくさんいただきました。



6月13日には、地方政治や町づくりに関心のある吉賀高校3年生の鈴木健太さんが、一般質問の傍聴にいられました。短い時間ではありましたが、「政治への関心が、より深まった」、「いつかこの場で仕事をしてみたい」と感想を寄せられ、地方議員のなり手不足が全国的な課題となる中、ホッとすると話題となりました。

編集後記

人口の減少が止まらない。出生率は1947年以降最低の1・20である。人口の維持には2・07程度が必要とされているので、2023年に生まれた72万人の赤ちゃんが76歳になる2100年には、人口は半減して6千万人になる。

経済、社会保障、安全保障など想像もできない世界が待っている。給食費や医療費の無償化など子育て支援も、もちろん大事な政策ではあるが、それと同時に縮小する社会の中で、100年先も幸せに暮らせる町をつくるためには、今までとは違う価値観を持った社会をつくることも必要である。

行政や議会だけがすすめる町づくりではなく、町民も一緒になって新しい時代の新しい町をつくっていくことが、今、求められている。

庭田 英明

【今月の表紙】

真田の「よしかみらい」で、サッカーを楽しんでいる、六日市保育所の園児のみなさんです。一生懸命ゴールを目指し、がんばる姿が見られました。

撮影：川上 泰博さん（美美工芸）

広報広聴常任委員会

委員長 村上定陽 副委員長 三浦浩明
委員 桜下善博 河村隆行 庭田英明